

札幌市中央図書館

映画「がんと生きる言葉の処方箋」

特別上映会&監督トークイベント

参加無料

がんも病気も個性のひとつです

『ハルコ』『マリアのへそ』『61ha 絆』
野澤和之監督作品

ドキュメンタリー映画

がんと生きる
言葉の処方箋

全力を尽くして
心の中で
そっと心配する

明日この世を去るとしても
今日の花に水をあげなさい

がんに罹っても
明るく生きる人々がいる。
そこには心を癒やす
言葉の処方箋が溢れていた。

主演: 植野典夫 宗本義則 春日井いつ子 斎藤智恵美 中村航大
プロデューサー: 田寺順史郎 協力プロデューサー: 並木芳夫 上田幸尚 青柳悠保 河川達也 企画協力: 岡田宏紀 撮影監督: 堂本昌宏 編集: 吉田誠
森山弘道 撮影協力: 芹澤哲也 録音: 深野千穂 編集: 平井将人 音楽: 合田孝生・r&kプロジェクト MA: 竹山公一郎 宣伝/広報: 湯浅健夫 執行役員
監督: 野澤和之 企画協力: 株式会社オー・パレ・アドバタイジング 制作協力: インタナショナル映画株式会社 2018年日本ノカチー/HDV16:9/ステレオ/90分
制作: 札幌市中央図書館製作委員会 委員会事務局 E-mail: ganetsu@eiga2018.jp TEL: 03-5216-8918 FAX: 03-5216-8914

2019年 8月24日 土

会場 札幌市中央図書館 3階講堂
札幌市中央区南22条西13丁目

定員 各150人(先着)

申込受付期間 7月24日(水)~8月18日(日)

午前の部 10:00~12:30(開場 9:30)
午後の部 14:30~17:00(開場14:00)

札幌市コールセンター

電話 011-222-4894

(年中無休、8時00分~21時00分)

WEB

<申込必要事項>

- ご希望の部(午前・午後)
※いずれかの部のみ
- 参加人数 ●氏名(参加者全員)
- 電話番号(代表者のみ)



全国各地で上映され、話題沸騰中のドキュメンタリー映画「がんと生きる言葉の処方箋」の特別上映会を札幌市中央図書館にて開催いたします。上映後は、映画撮影を通して病気や医療と向き合ってきた監督によるトークイベントも行いますので、ぜひご参加ください。

■あらすじ

がん哲学外来から発展してできたのが「がん哲学外来メディカル・カフェ」。全国のカフェで講演を続ける樋野教授。樋野先生の考え方に共鳴してそれぞれにカフェを開設して元気に生きる4人の主人公たち。

乳がんを経験して自分の生きる使命に気づいた女性。

大病院でがん哲学外来を実践する外科医。

乳がんを体験して地域の人々と悩みを分かち合うシングルマザー。

脳腫瘍を体験した高校生は、病の子供たちのために役立ちたいとカフェを運営する。

それぞれが、それぞれの立場で言葉の処方箋を投げかけあい、生きる力を作りだしていく。がんに悩む人々が元気になる瞬間、映画空間が明るく人々に語りかける。

■監督

野澤 和之 監督

プロフィール

立教大学文学部大学院修了、新潟県出身。短編映画、テレビディレクターを経てドキュメンタリー映画の世界へ。文化人類学を学んだ経験から文化社会の周縁にいる人々を描いた作品が多い。

代表作品

在日韓国人の半生を描いた「HARUKO」(平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞)、フィリピンのストリートチルドレンを描いた「マリアのへそ」(SKIPシティ国際Dシネマノミネート作品)、瀬戸内海に浮かぶ島のハンセン病療養所で暮らす夫婦の愛の物語「61ha 絆」(文化芸術振興費補助金・文部科学省選定) 他



札幌市中央図書館

札幌市中央区南22条西13丁目1-1

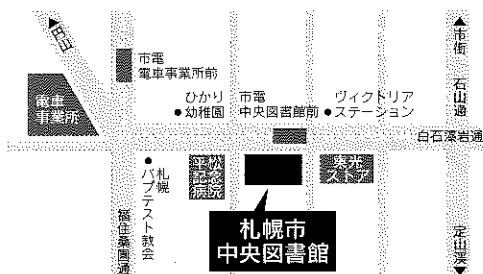
市電「中央図書館前」電停下車、徒歩1分

じょうてつバス「南21条西11」下車、徒歩5分

お問い合わせ先 札幌市中央図書館利用サービス課

TEL011-512-7355 FAX011-512-7712

主催：札幌市中央図書館



SAPP
RO



さっぽろ市
02-S03-19-1209
31-2-881